

松岡あきみち(26)と さあ、行こか!

- ・しんでん幼稚園→南丘小学校→第九中学校→北野高校→同志社大学法学部政治学科。
小、中、高校で生徒会長、豊中市中学生シンポジウム実行委員長を務める。
- ・池田市長、北摂の国会議員、地方議員のもとで政治の現場を学んだ後、箕面市公共下水道事業運営審議会委員を務める。近隣の市政について学び、条例改正にも携わる。
- ・JAバンク大阪の職員として地域経済、消費生活について学ぶ。休日は、NPO活動の取り組みや豊中ラグビースクールコーチとして過ごす。18年末に退職して、政治の道を志す。



19万人のみなさん、動いていただけますか?

●無所属

私たちの一番近くにいる政治家、多くの人が気軽に声をかけやすい政治家を創るため、特定の政党に属さず、党利党略のためには働きません。組織のしがらみなく、活動します。

●合言葉は「One for all, All for One」

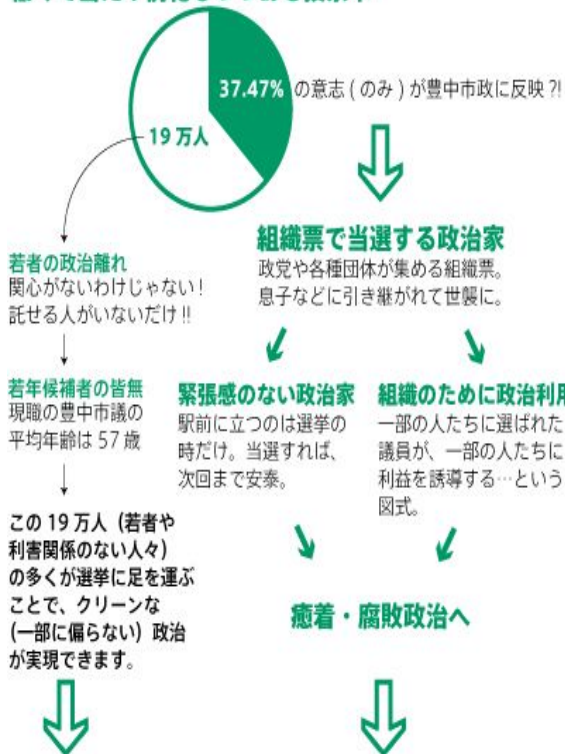
ラグーマンのモットーで「1人がみんなのために、みんなが1人のために」という意味です。個人主義、価値観の多様化が進む現在だからこそ、みなさんの心の中にも秘めていただきたいです。

●豊中を50年、見届けられる世代

その場しのぎでない政治を実現し、場当たりの借金をしないお金の使い方を実践します。将来の社会に対する責任を果たす世代として、半世紀を見通したまちづくりを始めたいと思います。



低くて当たり前化しつつある投票率



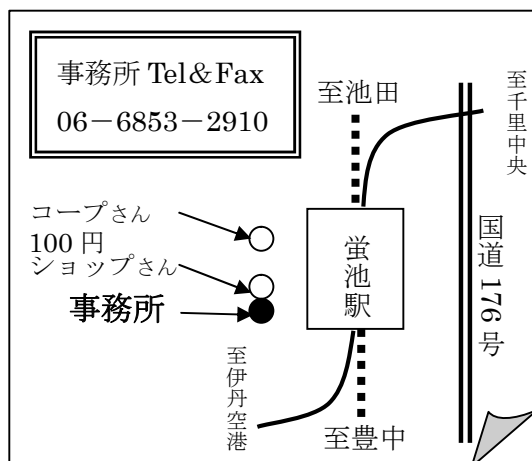
若い視点で新しい豊中市政を創造します。

松岡あきみちの思いをご覧ください!

温故創新のバックナンバーはホームページから印刷いただけます。各号裏面の『とよなか創政記』をお読みいただき、松岡あきみちの問題提起についてご検討ください。そして、まちづくりを一緒にはじめましょう。

<http://matsuoka-akimichi.net>

- ※「松岡あきみち」で検索して、「松岡あきみち後援会」サイトへ。
- ※ mixi では「まっちゃん」で検索してください。



とよなか創政記

「政治的中立とは何か」 松岡あきみち

胸に手をあてて思い出してみてください。

「この国で一番偉い人って、誰か知ってる？」という会話を、ほとんどの人が子どもの頃にしたことあると思います。私たちは本能的にリーダーが誰なのかを意識するようになっていきます。大人になるにしたがって、リーダーを意識する優先順位が低下していき、忘れてしまっているだけです。

部活のキャプテン、生徒会長、PTA会長、自治会長など、無償のリーダーは身の回りにたくさんいます。唯一有償のリーダー、つまり、私たちが雇っているのが政治家です。お金を払っているのに、どうして私たちの関心は低いのでしょうか。

残念ながら、政治についての知識は、マスコミに依存しています。マスコミは国政についての報道がほとんどで、地方政治の報道はほとんどありません。これによって、私たちの関心は無意識のうちに関心は偏り、政治劇場の観客へと追いやられています。

しかしながら、政治の主役は私たちです。そして、一番身近にいる政治家は市議会議員です。その議員が、私たちから遠くに感じる存在になっているのは、どうしてでしょうか。主役の私たちが演じてこなかったから、議員が表に出てこなかったからです。世襲や組織票だけで政治家になることで、議員は表に立つ必要がありませんでした。世襲や組織票だけで政治家にしまったのは、私たちが政治に参加しなかったからです。

もし、あなたが欠かさず選挙に行く方だったら、私がお願したいことは一つだけ、「どうしてその人なのか、答えられるようにしてください。」ということだと思います。「支持している候補者だから」「近所の人だから」「支持している政党だから」という感じに。

もし、あなたが選挙に行かない方だったら、私がまずお願いしたいことは「与えられた権利を放棄しないでください」ということです。「政治的中立を保つために、選挙には行きません」とおっしゃる方がいらつしやいましたが、これは間違いだと思います。選挙に行かないことは、組織票への加担になります。

豊中の有権者は約三十万人。例えば、ある組織が五万票をもっていると、組織票の割合は六分の一。市議会の定数は三十六議席ですから、六議席を確保することになります。ところが、実際に権利を行使している有権者は約十一万人ですから、五万票の組織票が占める割合は四五・四％。すると、この組織は議会で十六議席を確保することになります。十九万人が選挙へ行かないことで、組織の意向が現実以上に強く反映される政治になっています。私たちから政治が遠くに感じるのも当たり前、私たちの声が議会に届きにくいのも当たり前になっているのです。



(母校の豊中九中で、中学三年生に講演)

政治的中立とは、「いつも政治に参加し、特定の政党、候補者を支持するのではなく、その都度、自分なりの根拠をもって行動することです。『政治に参加する』とは、駅前のチラシをもらったり、政党機関紙を購読したり、ホームページを見たりして、情報収集をすることです。そして、自分なりの争点をもって、自分の考えに最も近い候補者を選ばなければなりません。

私は、現在の豊中の争点を「世代交代」「財政再建」「公教育の再生」と位置づけています。十九万人のみなさん、マスコミによって「無党派層」と一括りにされるのではなく、政治的中立で行動してください。

みなさんのご意見ご感想をお聞かせください。

松岡あきみち後援会 (千里事務所)
06-7178-7785
office@matsuoka-akimichi.net



◆事務所ボランティアスタッフ大募集◆

「温故創新」の配布や、発送作業などをお手伝いいただけませんか？配布はご近所の数件でも数十件でも結構です。無理なく、気持ちよく、可能な範囲で応援をお願いいたします。

◆松岡あきみちの熱い思いを聞いていただける方、お声かけください◆

松岡あきみちがお伺いします、ご連絡ください。(蛍池事務所：06 - 6853 - 2910)